

北の スポボラ

スポーツをする楽しみ
見る楽しみ
支える楽しみ

発行 / 認定NPO法人 ランナーズサポート北海道

トレイルラン大会をつくる楽しさ ATU(旭川) 前田 博さんに聞く

雪上でスノーシュー、ランニング、ファットバイクの3種目を楽しむ
スノーエデュランssfフェスティバル



森の中や登山道など自然環境に合わせて起伏のあるコースを走るトレイルランニングの愛好者が増えています。

2003年に旭川市で設立されたスポーツイベント企画・運営組織「ATU」を主宰している前田博さん(70)は毎年、道北地域などで多くのトレイル系のランイベントを開催している、道内でも有数のランイベントです。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた2020年度は、開催にこぎつけられたのが標高1558mの天塩岳を6・4km駆け上が天塩岳速登競争(8月2日)と、雪上コースをランニングやスノーシュー、ファットバイクで競走する「スノーエデュランssfフェスティバル」(2021年1月24日)の2大会のみでしたが、今年は10回目の記念大会となる「カムイの杜トレイルラン」や「SWEETGIRL RUN

(スイートガールラン)」など7つ大会を計画中。

「厳しい環境下だけれど、楽しいランイベントをランナーと一緒にやっていきたい」という前田さんに、トレイルランの魅力やイベント開催にたずさわることになったきっかけ、ボランティアをしてくれる仲間たちとの大会運営の裏話などを聞きました。

目次

- 5月5日に五輪マラソンテスト大会 ③
- 健康の雑学 掻けば掻くほど ③
- スポーツボラの<キホン> ④